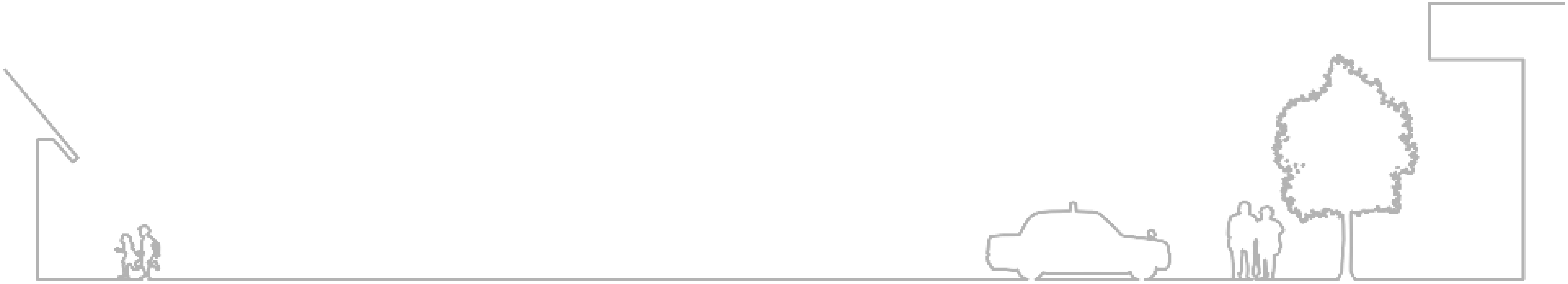
沖郷地区における
地域公共交通「おきタク」の取組について

沖郷地区地域公共交通運行協議会
南陽市みらい戦略課

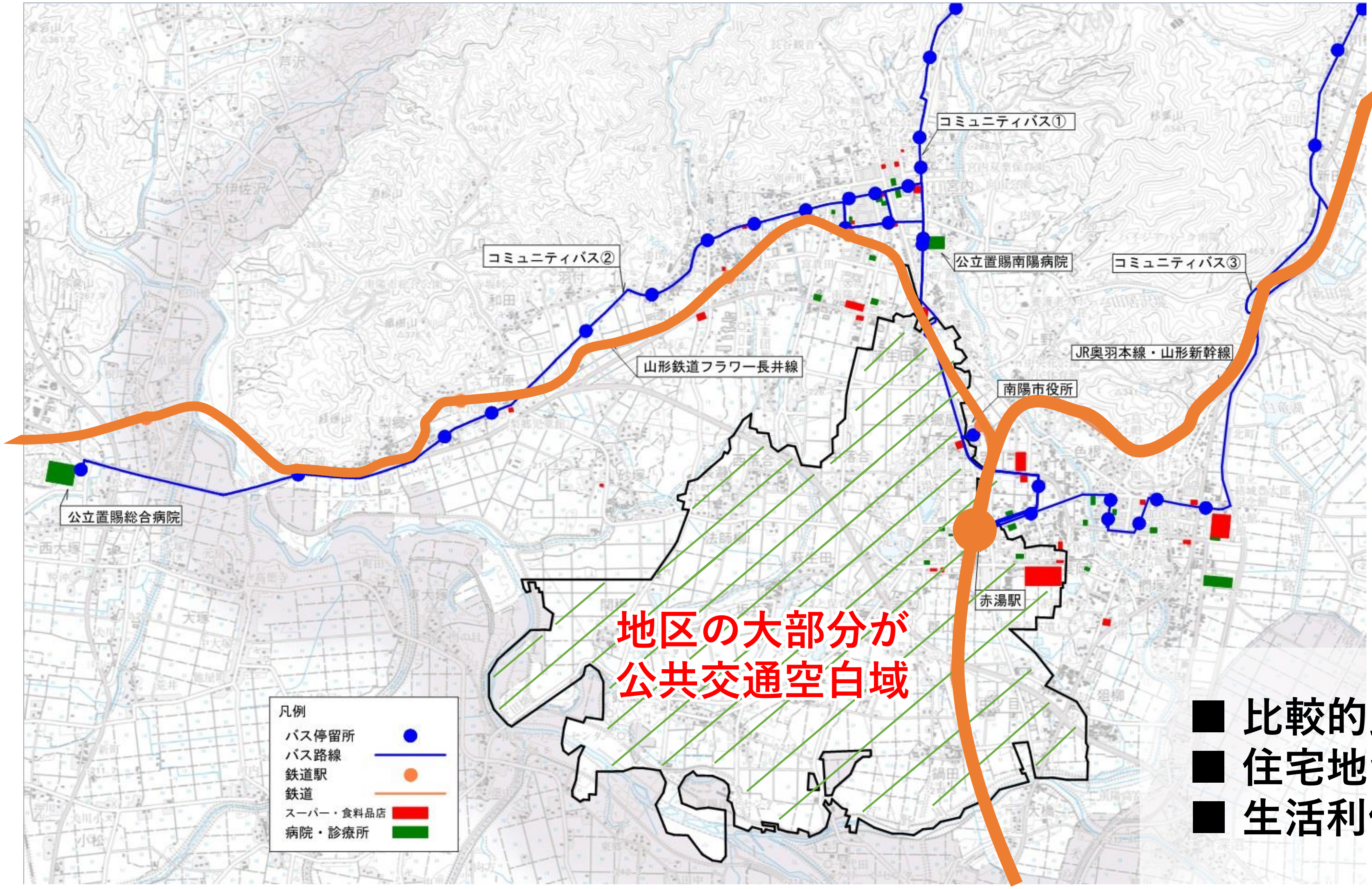
３つのポイント

- ■ 地域住民による主体的な課題解決
- ■ 乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ
- ■ 協議会を調整役とするコストシェアリング



■ 地域住民による主体的な課題解決

沖郷地区の地域特性（特殊事情）



■ 比較的良好な居住環境
■ 住宅地が東西南北に広く分布
■ 生活利便性の格差

■ 地域住民による主体的な課題解決

沖郷地区の地域特性（特殊事情）

過去に運行していた
市民バス廃止の歴史

＋

市中心に位置する
比較的良好な居住環境

移動需要を担う
タクシー業者の存在

東西南北に広く分布する住宅地

地区内における
生活利便性の格差

▼

交通空白地でありながら
移動需要が顕在化しにくい状況

「デマンド型交通への期待」と
「公共交通不要論」が地区を二分

▼

<u>地域内の十分な議論</u>、<u>関係者の合意形成に基づく施策展開</u>が必要

■ 地域住民による主体的な課題解決

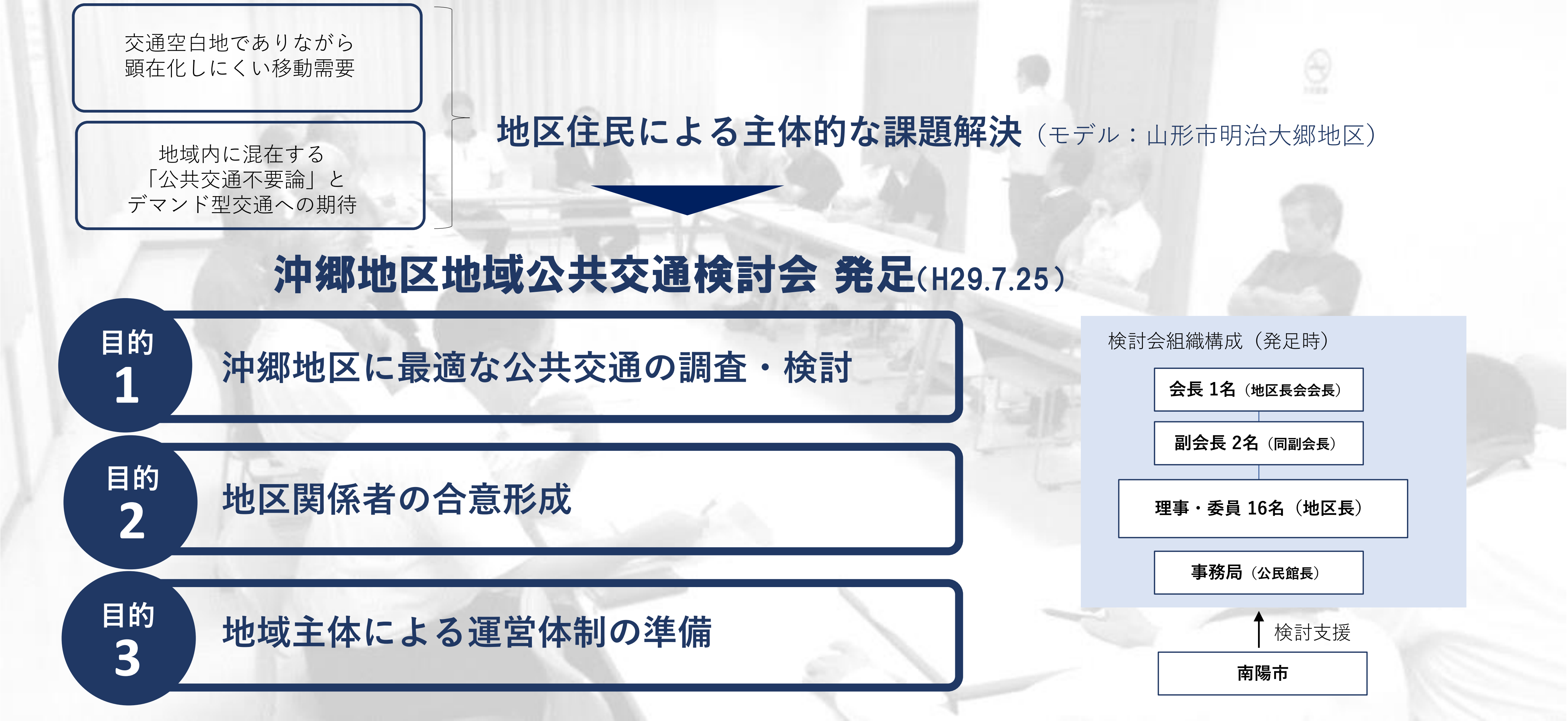
検討の足跡と本格運行までの経過

沖郷地区地域公共交通検討会 設立総会 H29.7.25

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

沖郷地区地域公共交通検討会 設立総会 H29.7.25



交通空白地でありながら
顕在化しにくい移動需要

地域内に混在する
「公共交通不要論」と
デマンド型交通への期待

地区住民による主体的な課題解決（モデル：山形市明治大郷地区）

沖郷地区地域公共交通検討会 発足（H29.7.25）

目的1 沖郷地区に最適な公共交通の調査・検討

目的2 地区関係者の合意形成

目的3 地域主体による運営体制の準備

検討会組織構成（発足時）

- 会長 1名（地区長会会長）
- 副会長 2名（同副会長）
- 理事・委員 16名（地区長）
- 事務局（公民館長）

↑ 検討支援

南陽市

■ 地域住民による主体的な課題解決

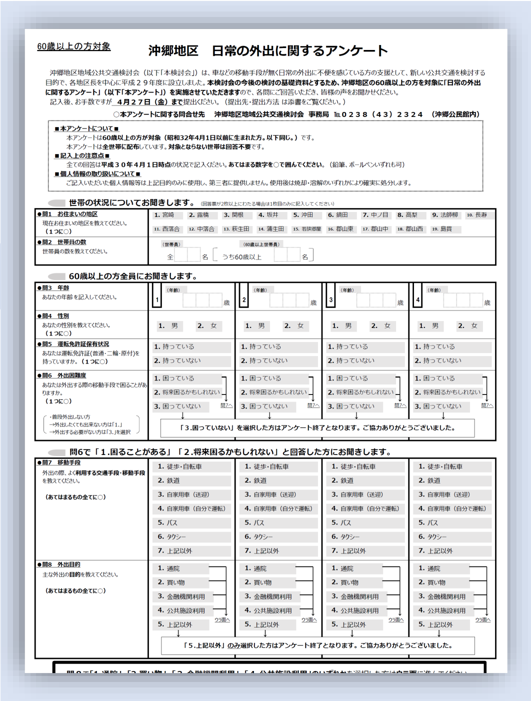
検討の足跡と本格運行までの経過

沖郷地区地域公共交通検討会

設立総会（H29.7.25） — 先進地視察（H29.8.21） — 勉強会（H30.1.12） — 三役会（H30.1.30） — 三役会（H30.2.13） — 三役会（H30.2.28） — 第2回会議（H30.2.28）

— アンケート調査実施（H30.4.1） — 第1回会議（H30.6.27） — 第1回部会（H30.7.11） — 第2回部会（H30.7.25） — 第3回部会（H30.8.7） — 第4回部会（H30.8.21） — 第2回会議（H30.8.28）

— 第5回部会（H30.9.7） — 三者打合せ（H30.9.14） — 第3回会議（H30.9.26） — 実証実験運行（H30.11.1～） — 第6回部会（H31.3.7） — 第4回会議（H31.3.7） → （組織改編）



沖郷地区地域公共交通運行協議会

（組織改編） — 準備打合せ（R1.5.8） — 設立総会（R1.7.2） — 第2回会議（R1.7.22） — 地区長会（R1.7.30） — 三者打合せ（R1.9.25） → 本格運行（R1.10.1～）

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

先進地視察研修「山形市明治大郷地区 スマイルグリーン号の取組」H29.8.21

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

先進地視察研修「山形市明治大郷地区 スマイルグリーン号の取組」H29.8.21

地区内のキーマン
汗をかく人

地区内の役割分担
知恵を出す人、資金を工夫する人

良きアドバイザー

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

勉強会 『暮らしの足を「三方よし」で創り育てるススメ』 福島大学 吉田准教授 H30.1.12

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

勉強会 『暮らしの足を「三方よし」で創り育てるススメ』 福島大学 吉田准教授 H30.1.12

事業者・行政任せでは
くらしの足は守れない

地域・事業者・自治体
三方良しを目指す

地域で困っている人を
数える作業が重要

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

アンケート調査 「沖郷地区 日常の外出に関するアンケート」H30.4.1

60歳以上の方対象

沖郷地区　日常の外出に関するアンケート

沖郷地区地域公共交通検討会（以下「本検討会」）は、車などの移動手段が無く日常の外出に不便を感じている方の支援として、新しい公共交通を検討する目的で、各地区長を中心に平成２９年度に設立しました。**本検討会の今後の検討の基礎資料とするため、沖郷地区の60歳以上の方を対象に「日常の外出に関するアンケート」（以下「本アンケート」）を実施させていただきます**ので、各問にご回答いただき、皆様の声をお聞かせください。

記入後、お手数ですが **４月２７日（金）まで**提出ください。（提出先・提出方法 は添書をご覧ください。）

○本アンケートに関する問合せ先　沖郷地区地域公共交通検討会　事務局　TEL０２３８（４３）２３２４　（沖郷公民館内）

■本アンケートについて■

本アンケートは**60歳以上の方が対象（昭和32年4月1日以前に生まれた方。以下同じ。）**です。

本アンケートは**全世帯に配布**しています。**対象とならない世帯は回答不要**です。

■記入上の注意点■

全ての回答は**平成３０年４月１日時点**の状況で記入ください。**あてはまる数字を○で囲んでください。**（鉛筆、ボールペンいずれも可）

■個人情報の取り扱いについて■

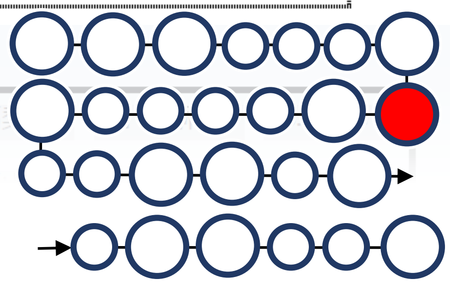
ご記入いただいた個人情報等は上記目的のみに使用し、第三者に提供しません。使用後は焼却・溶解のいずれかにより確実に処分します。

世帯の状況についてお聞きします。（回答票が2枚以上にわたる場合は1枚目のみに記入してください）

●問1　お住まいの地区

現在お住まいの地区を教えてください。

1. 宮崎　2. 露橋　3. 関根　4. 坂井　5. 沖田　6. 鍋田　7. 中ノ目　8. 高

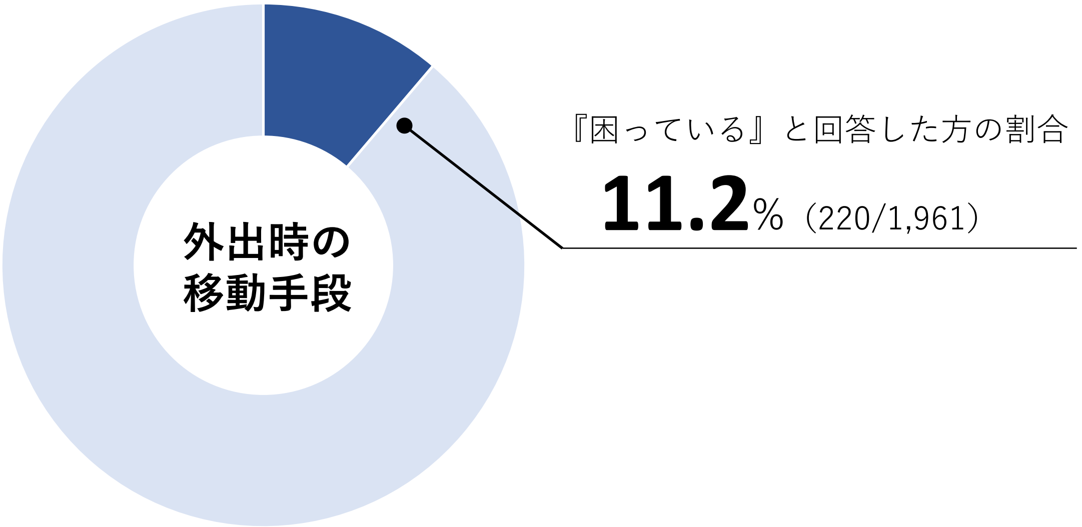


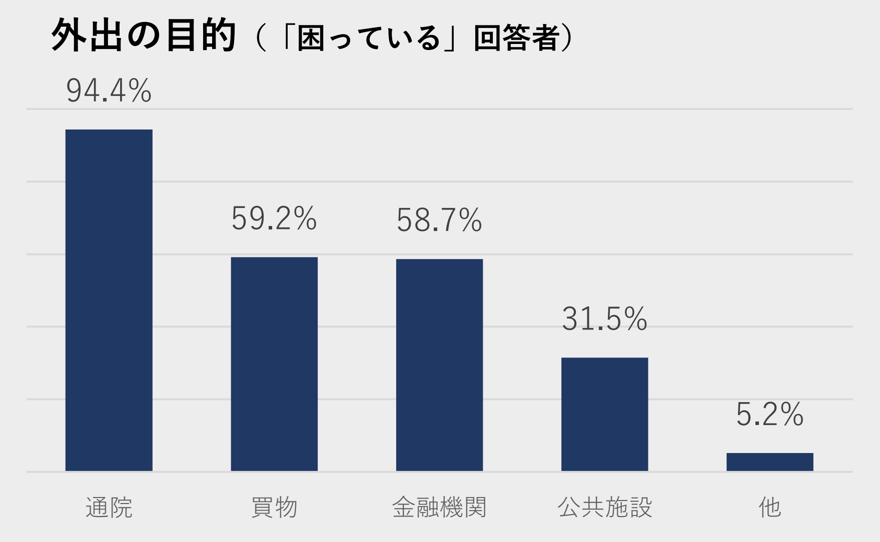
■ 地域住民による主体的な課題解決

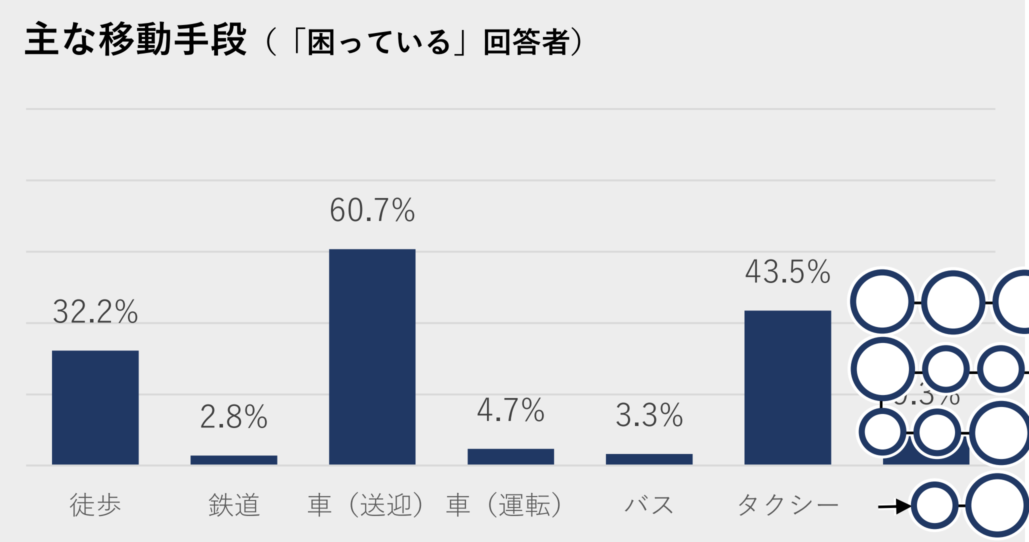
検討の足跡と本格運行までの経過

■ アンケート概要

【名称】　　沖郷地区　日常の外出に関するアンケート
【目的】　　外出実態の把握
【実施期間】平成30年4月1日～4月27日
【調査方法】地区長による配布・回収
【対象者】　沖郷地区に居住する60歳以上の方
【対象者数】2,496人
【回答者数】1,961人
【回収率】　約79.4％



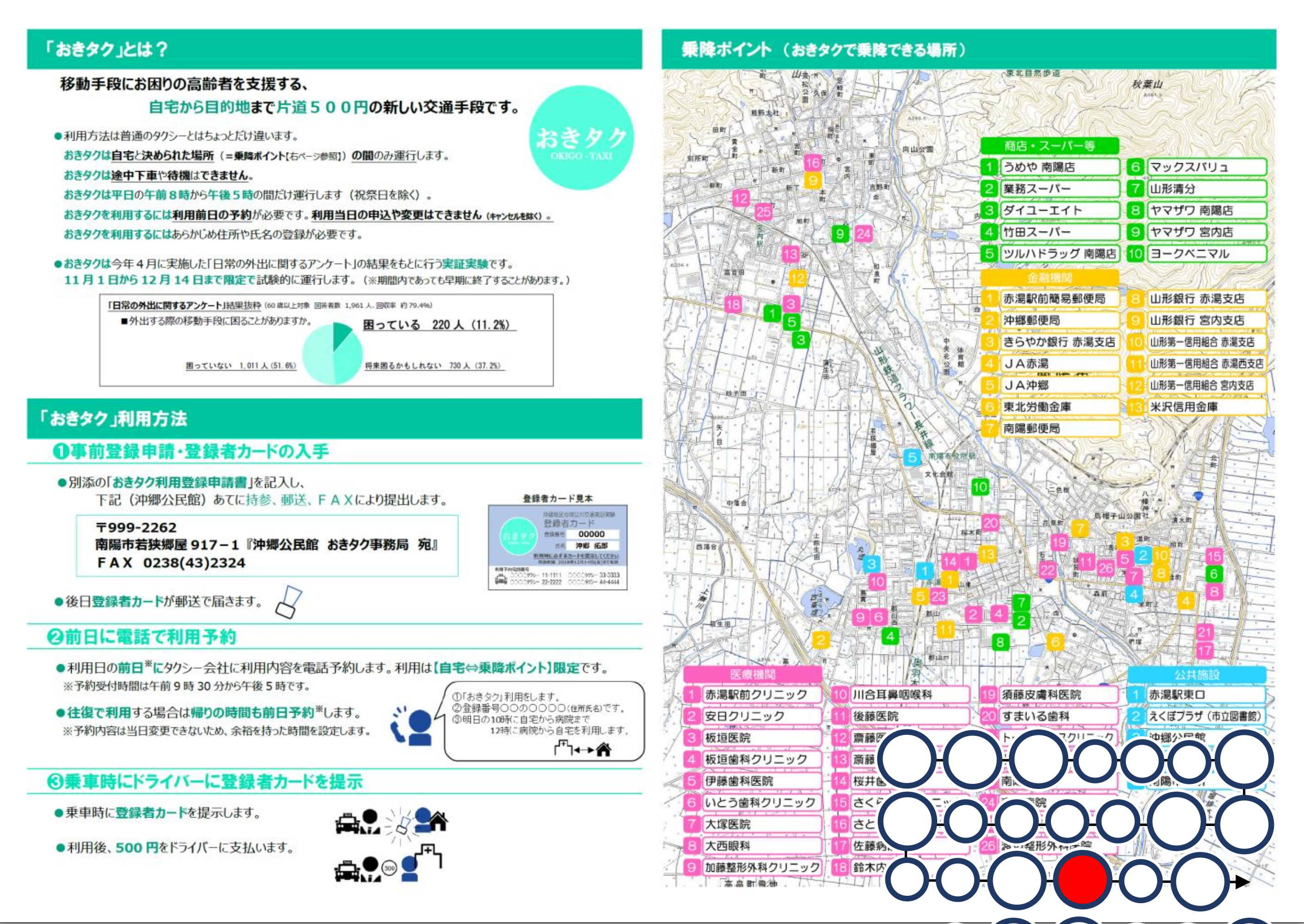




■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

実証実験運行 H30.11.1～ H30.12.14（平日のみ31日間）



■ 地域住民による主体的な課題解決

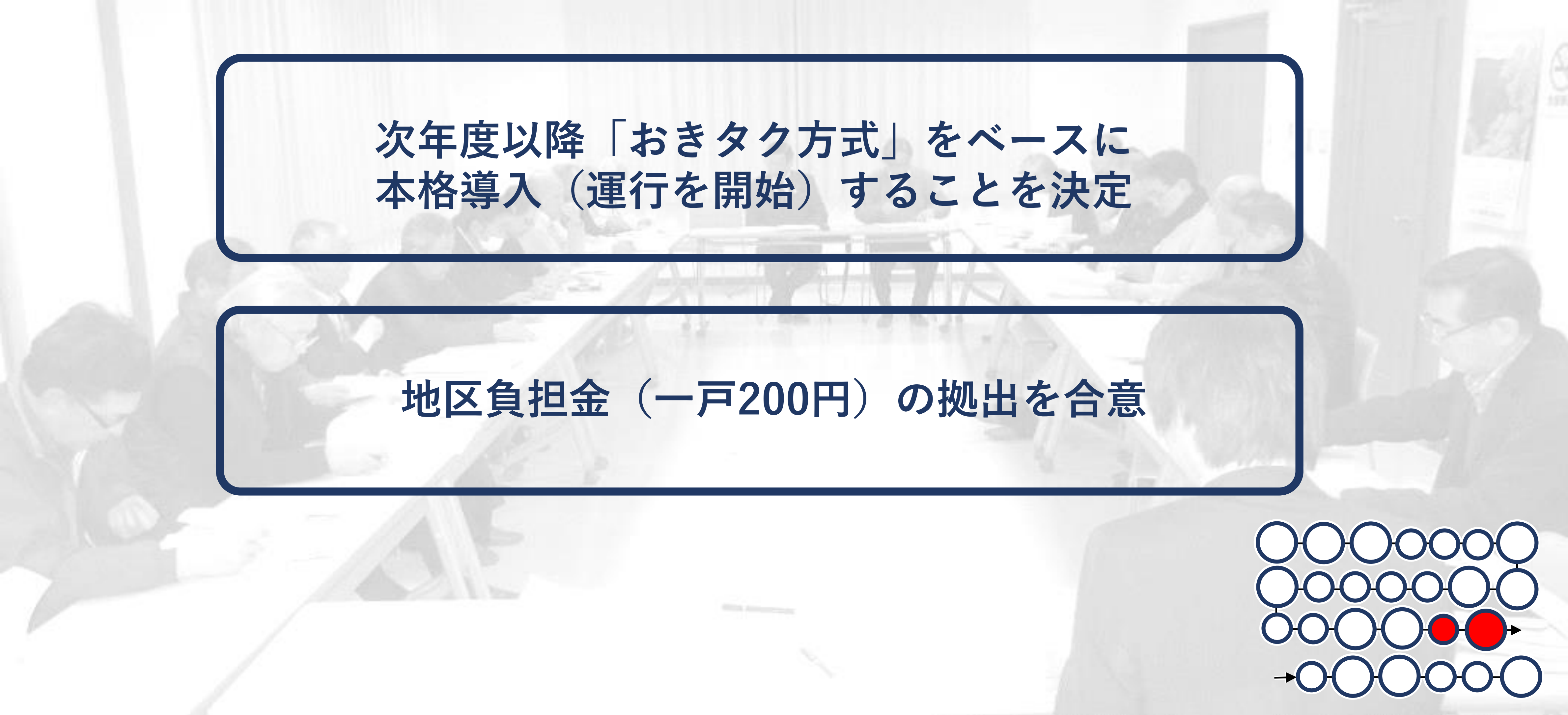
検討の足跡と本格運行までの経過

第6回検討部会 及び 第4回会議 H31.3.7

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

第6回検討部会 及び 第4回会議 H31.3.7



次年度以降「おきタク方式」をベースに
本格導入（運行を開始）することを決定

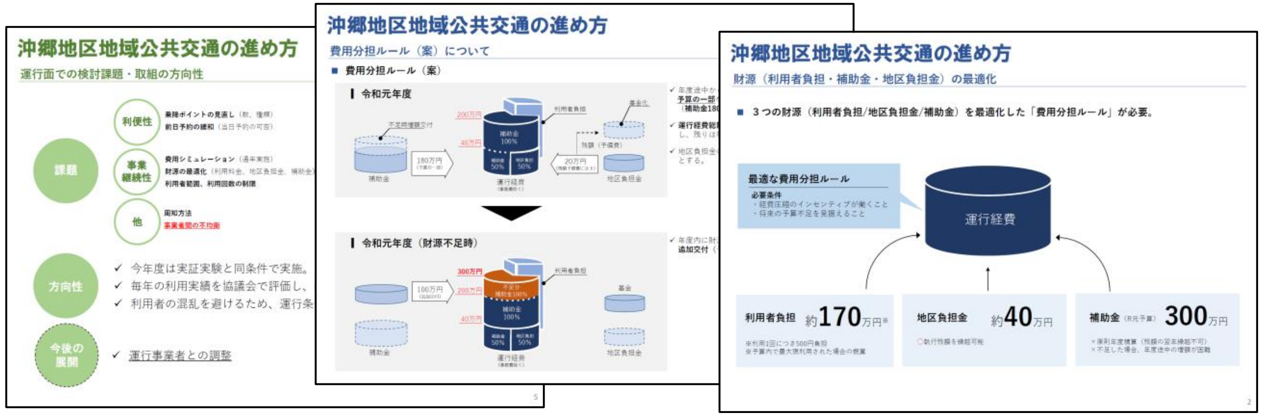
地区負担金（一戸200円）の拠出を合意

■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

沖郷地区地域公共交通運行協議会 設立総会 R1.7.2

- **準備 1** 地区組織を再編成（検討会→運行協議会）
- **準備 2** 運行サービス内容の検討
- **準備 3** 地区負担金と市補助金の負担区分検討



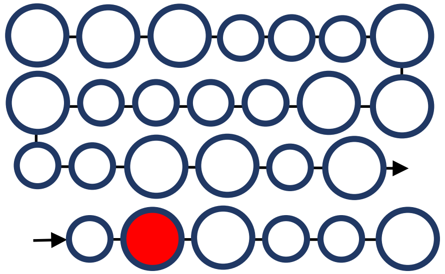
運行協議会 組織構成

- 会長 1名（旧:検討会会長）
- 副会長 1名（地区長会会長）
- 理事 5名（旧:検討会委員）（前公民館長）
- 事務局（公民館長）

構成員 沖郷地区の全住民

↑ 運営支援

南陽市



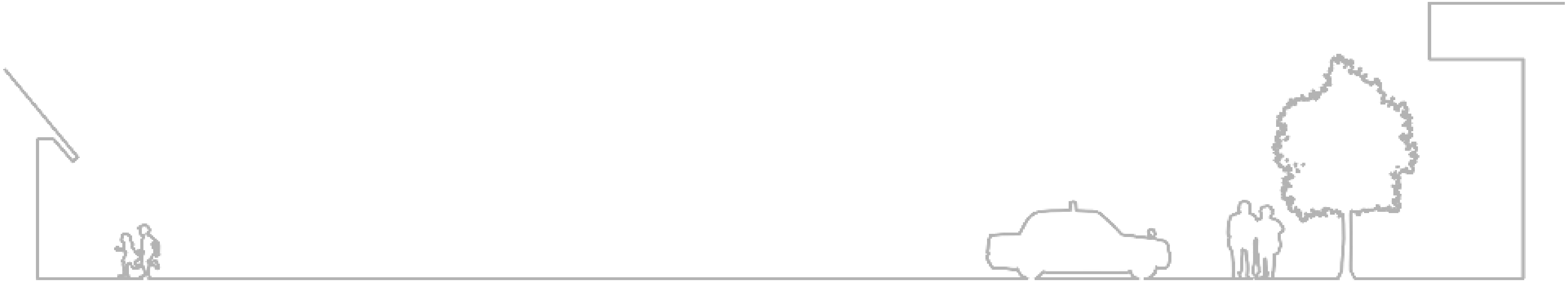
■ 地域住民による主体的な課題解決

検討の足跡と本格運行までの経過

おきタク 本格運行を開始 R1.10.1

3つのポイント

- 地域住民による主体的な課題解決
- **乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ**
- 協議会を調整役とするコストシェアリング



■ 乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ

おきタクのサービス概要

- ■ 沖郷地区の60歳以上の方対象
- ■ 要利用者登録・前日予約
- ■ 運行形態

【運行時間】 平日8時から17時に運行

【運行範囲】 自宅-おきタクのりば※間の移動限定

※途中下車、車両待機 不可

※おきタクのりば…協議会が指定する乗降場所。

利用可能な医療機関、商業施設、金融機関、公共機関の54箇所の総称。

【利用料金】 1回 500円（片道）

【運行車両】 タクシー車両（セダン型）

【運送事業者】 一般乗用旅客自動車運送事業者（タクシー事業者）

【利用方法】 ①あらかじめ利用者情報を登録し、登録カードを取得

②通常タクシーと同じように前日に電話予約

③登録カードを提示のうえ利用、利用後定額料金500円を支払い

④後日、運行事業者からの請求により、協議会がメーター金額との差額を支払い

おきタク
OKIGO - TAXI

▼登録カード

■ 乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ

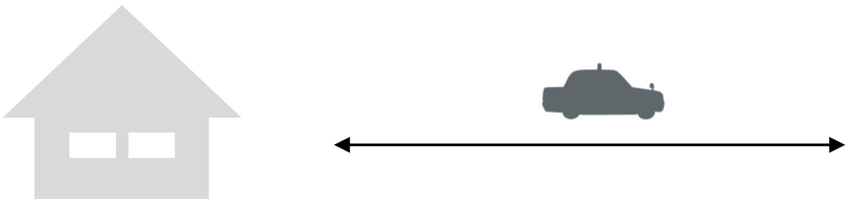
おきタクで できること ／ できないこと

おきタクで できる

平日の８時から17時まで利用**できます。**
自宅と下記おきタクのりば間を片道500円（往復1000円）で移動**できます。**
登録者以外の家族や知人と一緒に相乗り利用が**できます。**

おきタクで できない

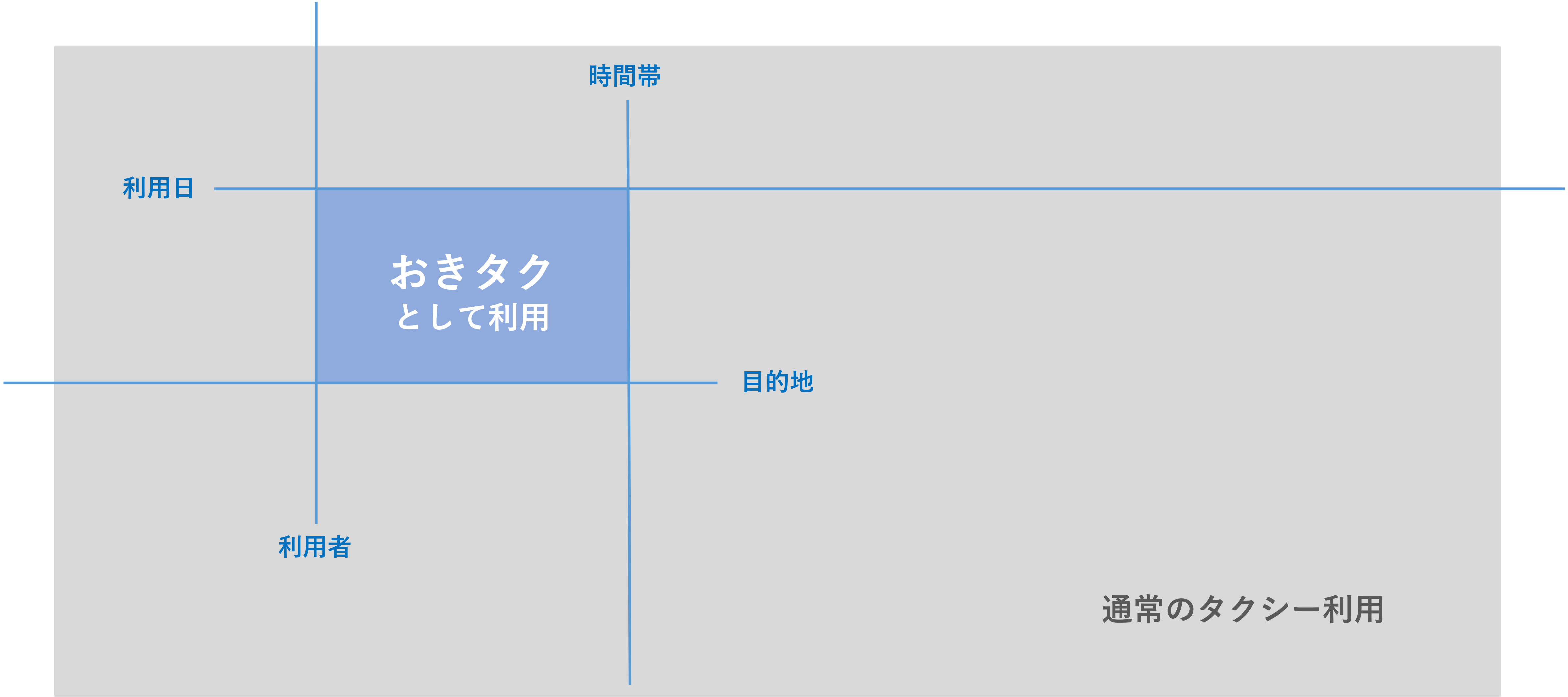
途中の寄り道，下車・車両の待機は**できません。**
下記おきタクのりば以外の利用は**できません。**
利用当日の電話予約，予約内容変更※は**できません。**
※キャンセルを除く。



医療機関	26か所
商業施設	10か所
金融機関	13か所
公共機関	5か所

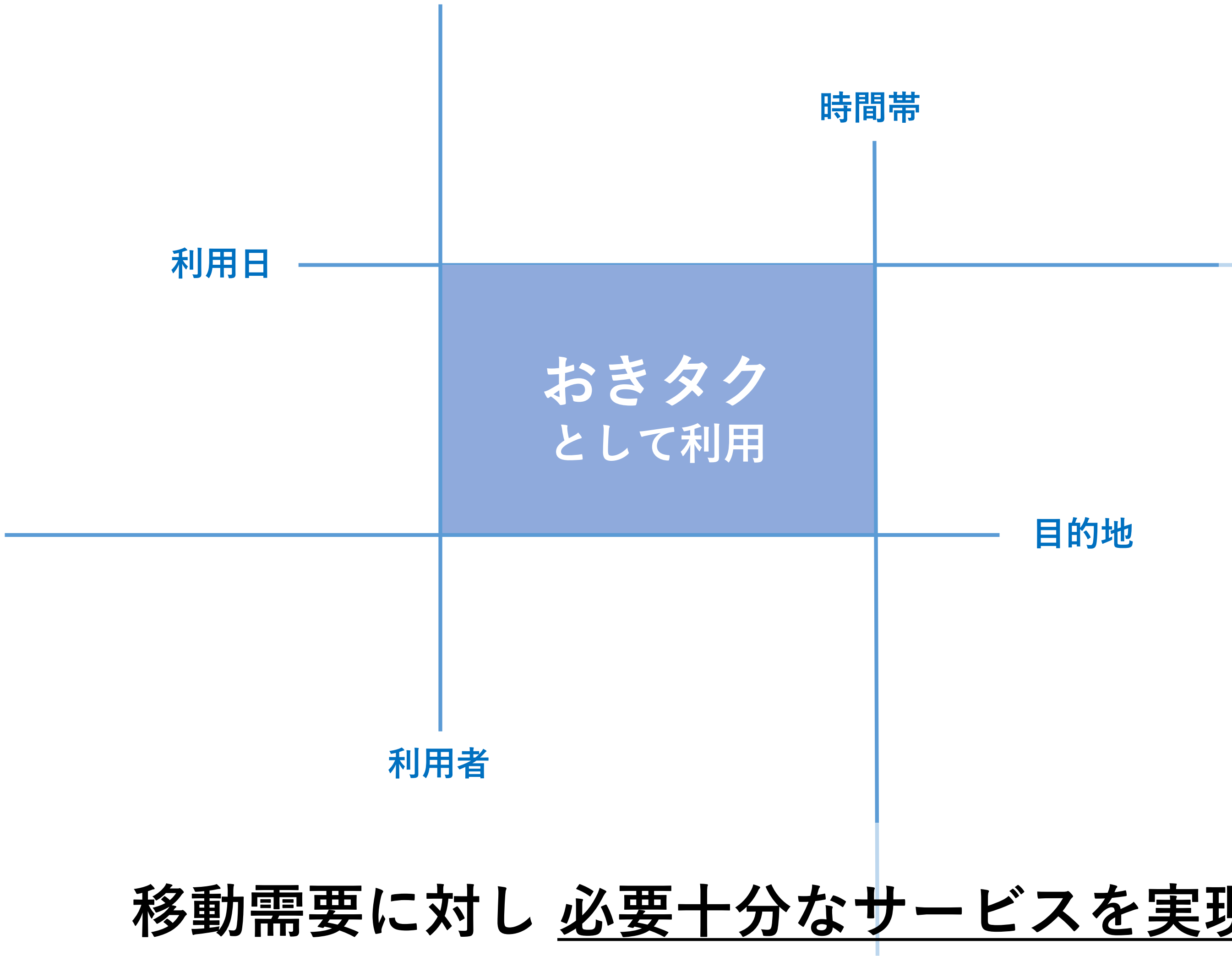
■ 乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ

どこからどこまでが「おきタク」...？



■ 乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ

だれのどんな需要に応えるため...？



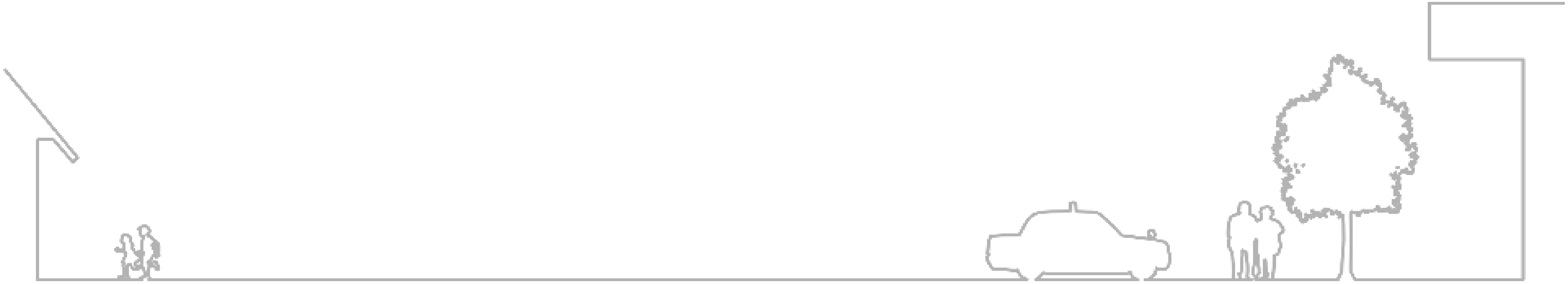
乗用タクシー の範囲内で
シンプル かつ コンパクトに完結

※ 専用の車両・システム・オペレーター不要
※ 固定費なし、運行経費は稼働した分だけ
※ 経費が膨張する不確実な要素を事前に整理

移動需要に対し <u>必要十分なサービスを実現</u>しつつ <u>運行コストを抑制</u>

3つのポイント

- 地域住民による主体的な課題解決
- 乗用タクシーを活用したコンパクトパッケージ
- **協議会を調整役とするコストシェアリング**



協議会を調整役とするコストシェアリング

運営体制とそれぞれの役割

運行主体

沖郷地区
地域公共交通
運行協議会

補助金、運営支援

南陽市

協定締結

南陽市ハイヤー業者会

構成員 タクシー事業者 全４社

収入
- 市補助金
- 地区負担金
- その他収入

組織構成

- 会長 1名
- 副会長 1名
- 理事 ５名
- 事務局（沖郷公民館）

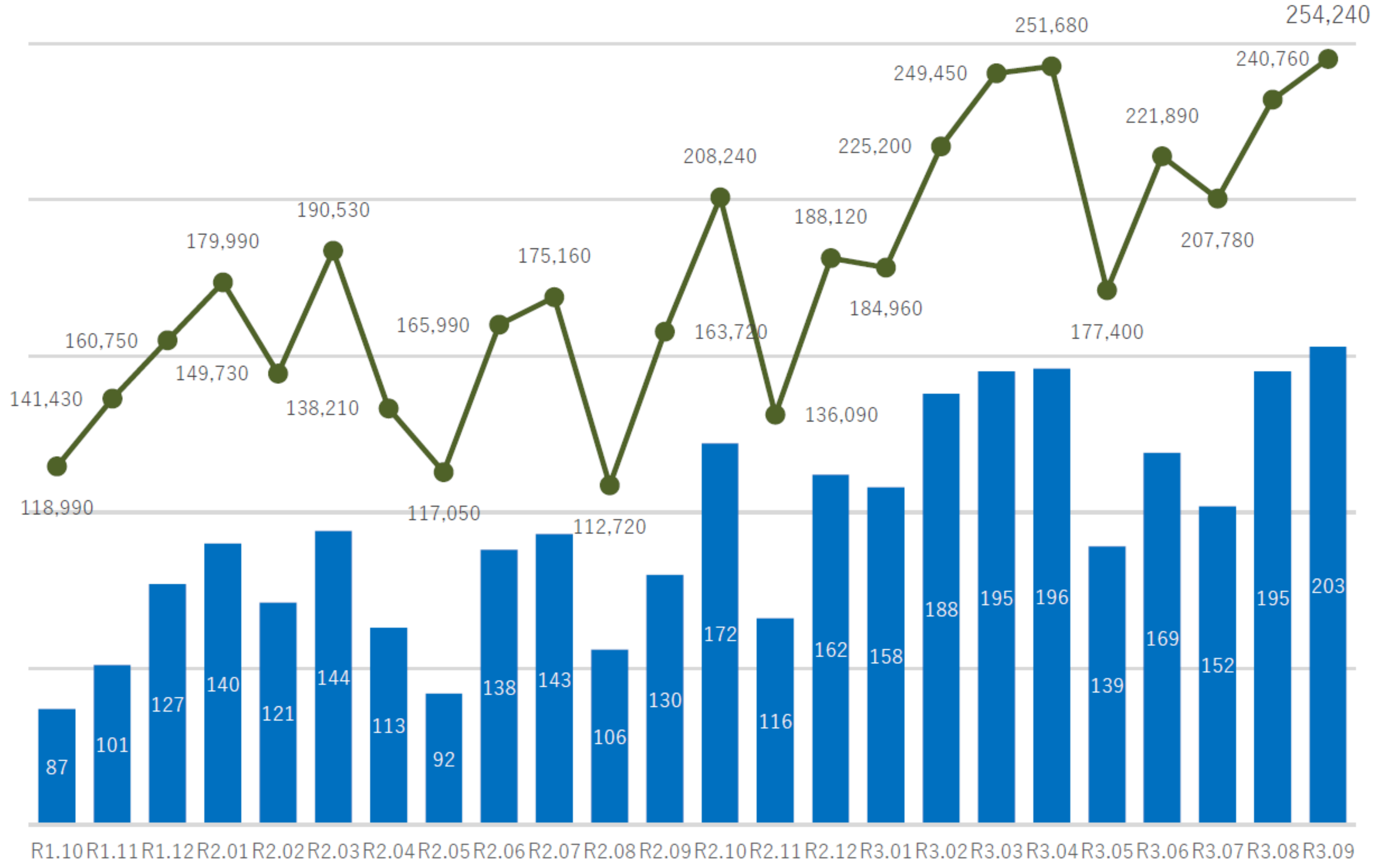
構成員 沖郷地区の全住民

メーター額 ：*** 円／便
自己負担額：500円／便
残）未収額：事業者の請求に基づき協議会が負担

協議会を調整役とするコストシェアリング

運行実績の概況（令和3年9月末現在）

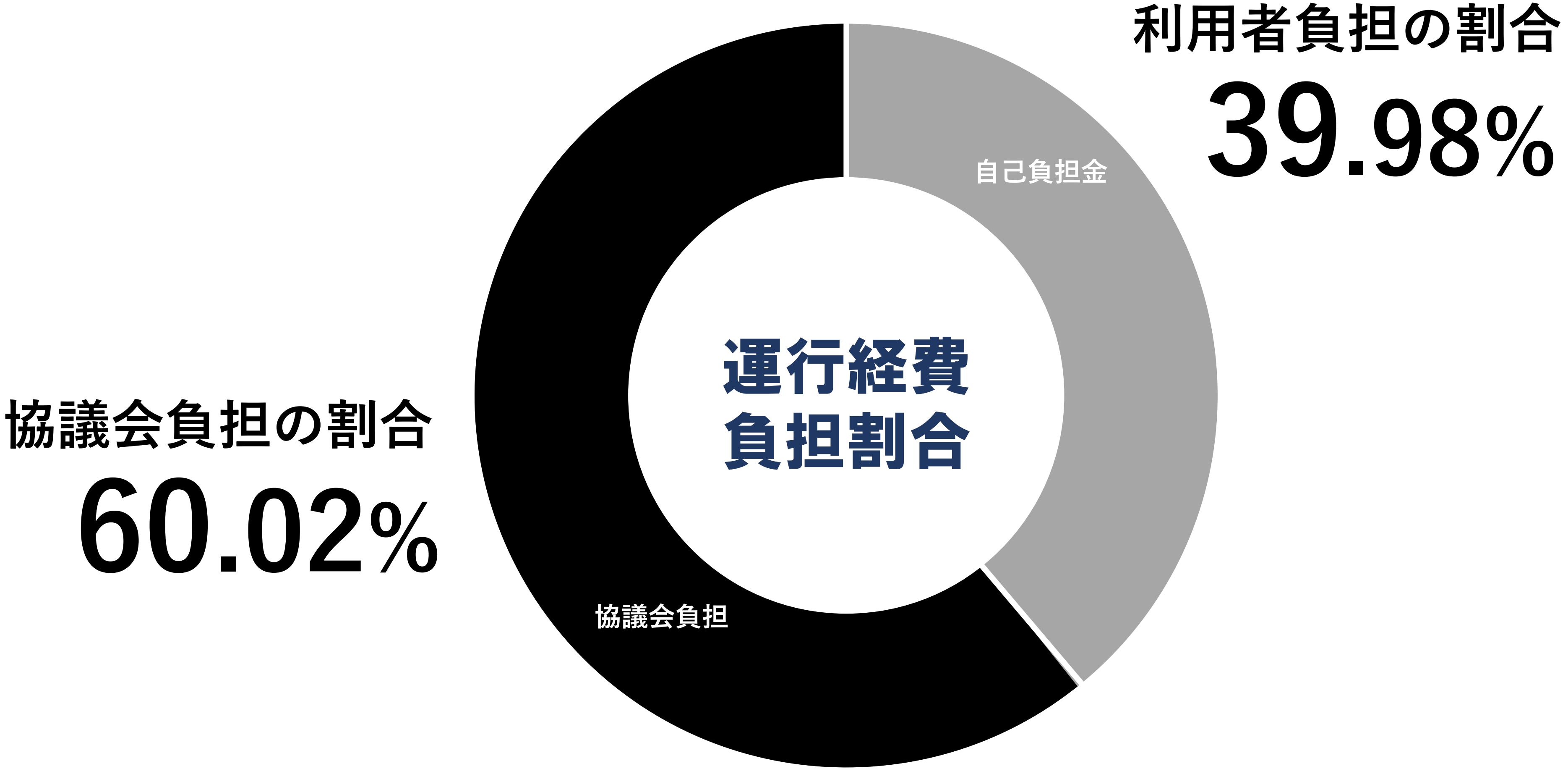
■ 運行便数・メーター額の月次推移



協議会を調整役とするコストシェアリング

運行実績の概況（令和3年9月末現在）

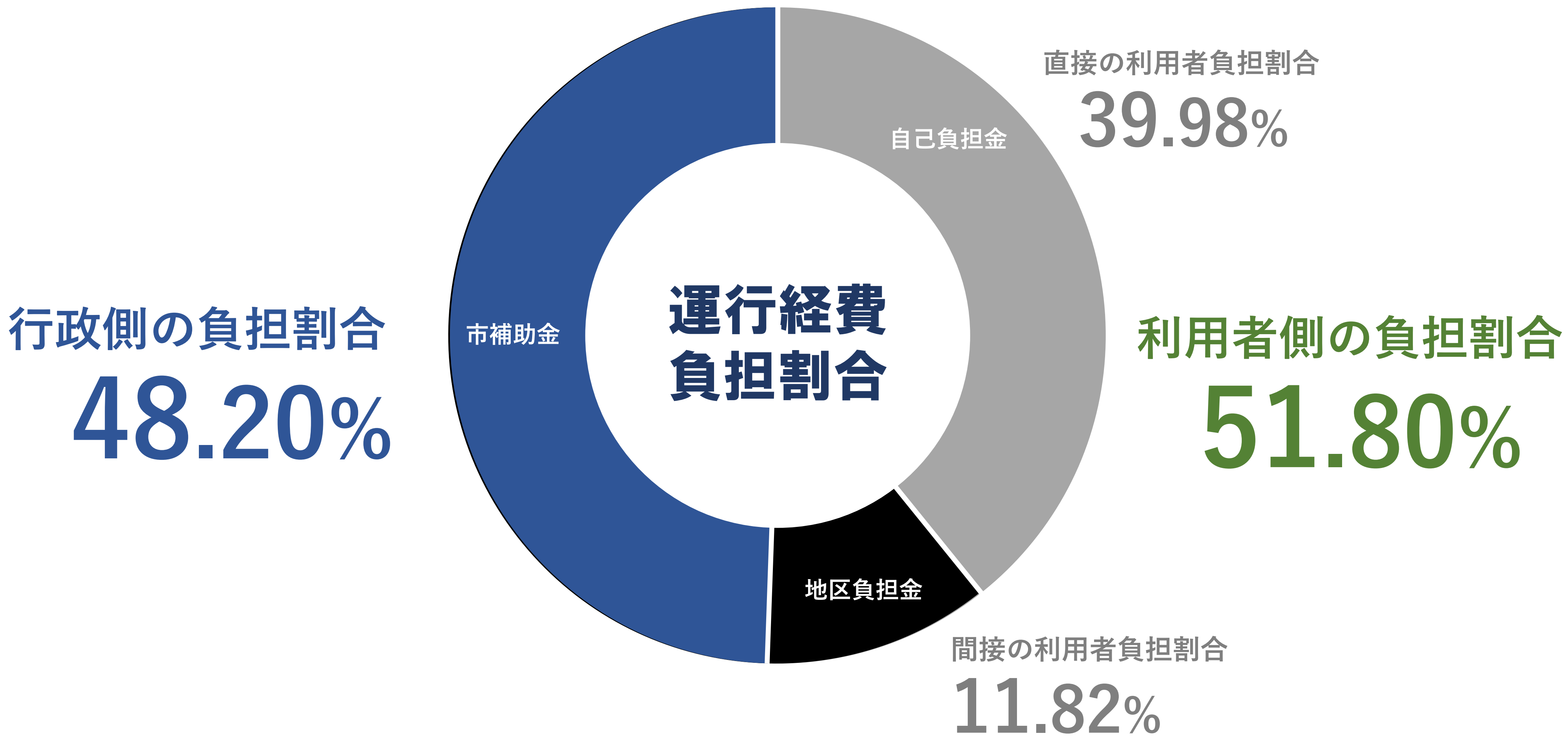
■ おきタクの運行経費の負担割合



協議会を調整役とするコストシェアリング

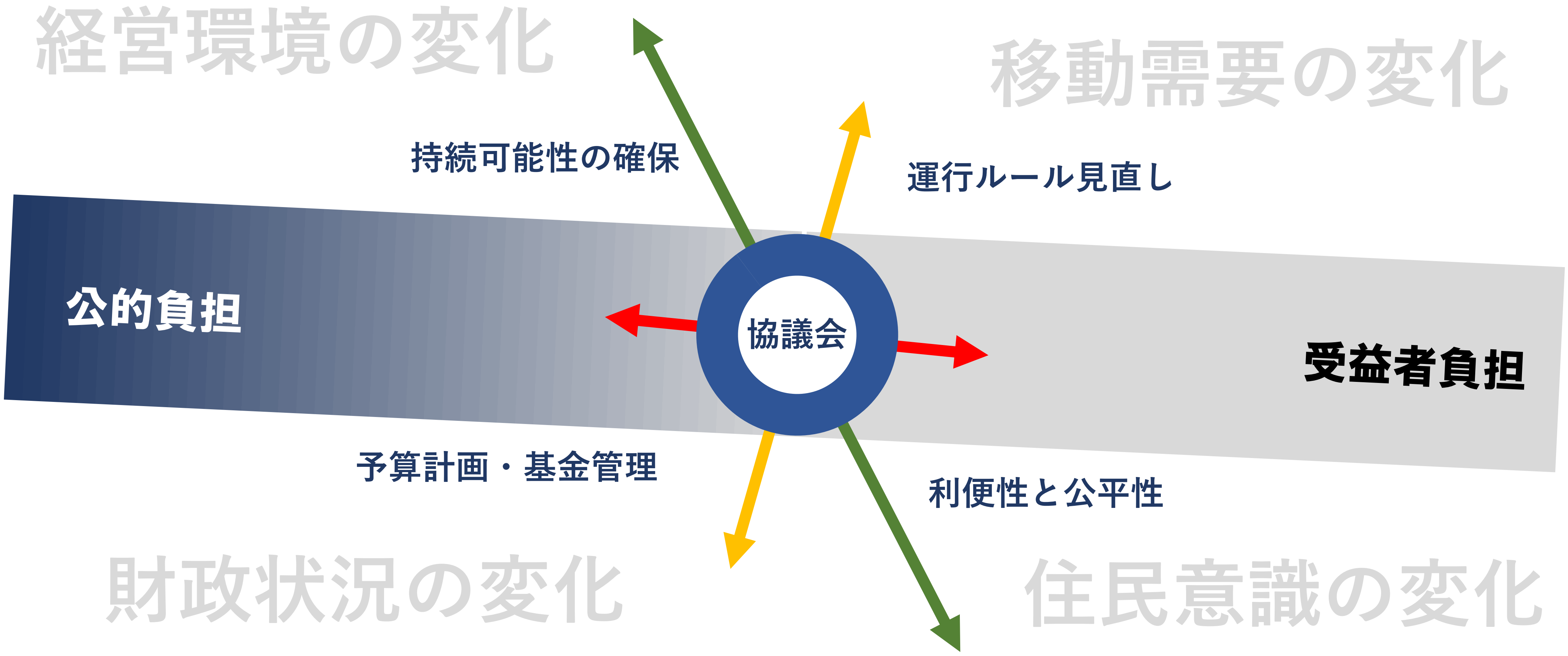
運行実績の概況（令和3年9月末現在）

■ おきタクの運行経費の負担割合



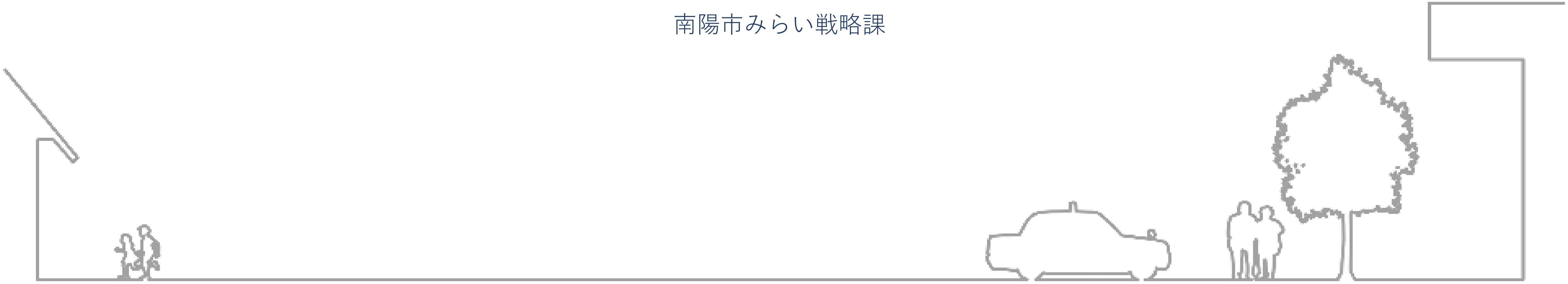
協議会を調整役とするコストシェアリング

持続可能な地域公共交通であるために



‘Sustainable’ . . . ?

沖郷地区における地域公共交通「おきタク」の取組について

沖郷地区地域公共交通運行協議会

南陽市みらい戦略課